

一般質問通告一覧表

平成29年12月5日（火）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	先野正宏	60分	温泉資源を活用した地域活性化について 本市は、豊かな温泉資源に恵まれ、市内各地に温泉源が存在している。温泉の泉質は多様で、含まれる成分によって健康の維持増進や様々な症状が改善されるなど、体により効果があると言われている。 温泉の有効利用は温泉地の地域活性化にも繋がると思うが、市は温泉の有効利用策をどのように考えているのか問う。	市長部課長	9:30
			定住対策について 本市では人口減少が止まらず、現在では社会減と自然減が同時に発生している。市は、人口減少対策は待った無しの状況との危機感を持ち、定住対策について取り組んでいる。 市の定住対策の課題及び今後の取り組みについて問う。	市長部課長	
2	田村哲郎	70分	長門おもちゃ美術館（仮称）の運営について 来年4月にオープン予定のおもちゃ美術館の運営は、当初からNPO法人「人と木」が予定されており、それに向けて準備が進んでいる状況である。 そこで、おもちゃ美術館について次の4点を尋ねる。 ①「木育」推進が謳われているが、急務なのは「林業」の振興ではないか。おもちゃ美術館は林業振興の本筋ではないと思うがどうか。 ②おもちゃ美術館の入館予定見込み数が「4万人」となっているが、その根拠について。 ③ 指定管理による運営方式をとらない根本的理由。 ④ 8月31日に市とNPO法人「人と木」が締結した「協定」は、市のいかなる条例又は規則で規定されているのか。	市長部課長	10:40
3	三輪 徹	60分	危機管理（国民保護）について 先の衆議院解散にあたり安倍総理は、世界的にも前例のない速さで進む我が国の「少子高齢化」と、核実験と弾道ミサイル発射を繰り返す「北朝鮮による脅威」の2つの国難を国民の皆様と共に乗り越えていくにあたり、国民の皆様への信を問うために行われると9月25日総理官邸での記者会見で述べられた。我が国の安全を脅かす北朝鮮による挑発行為が繰り返される中、万が一外部からの武力攻撃やテロなどが迫り又は発生した場合、市は国、県との連携の中で、市民の安全をどのようにして確保するのか問う。	市長部課長	13:00
			地域で子どもたちを育てる環境整備について 「地域と共にある学校づくり」を進めるコミュニティスクール制度の中、地域と学校の連携はスムーズに進んでいるのか、教育委員会が描く地域と学校の関係はどのような姿なのか問う。	教育長部課長	
			学校の危機管理について 学校は、児童、生徒を犯罪から守るために何をしなければならないのか問う。	教育長部課長	
4	大草博輝	45分	中学校の部活動の在り方について 近年、少子化による生徒数の減少により各中学校の部活動の運営は、難しい状況にある。また教員の運動部指導は、業務負担など様々な問題が指摘されている。 スポーツを楽しみ、芸術文化を育む部活動は、生徒の自発的・自主的なものではあるが、学校教育として適正な判断が求められる。こうした部活動の現況をどのように考えているのか尋ねる。	教育長部課長	14:10
5	橋本憲治	30分	災害時における避難所について 避難所とは被災者が生活拠点を失った時、衣食住を得るための場所だと認識している。 本市の避難所の現状と課題について問う。	市長部課長	15:05

平成29年12月6日（水）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
6	林 哲也	70分	<p>地域福祉計画と地区社協について 本年3月、第3次長門市地域福祉計画が策定され、地域のニーズに沿った、より地域に根差した活動を地域住民が主体となって進めるため市内7地区の地区社協が中心となった取り組みが推進されている。今後、身近な自治会単位等で、市民の福祉に対する理解をもっと深めていくことや、活動のための財源の確保、関連機関との連携強化等について検討していくことが必要との課題も提起されているが、次年度以降の具体的な取り組みについて問う。</p> <p>公民連携と湯本温泉観光まちづくりについて 公民連携の長門湯本温泉観光まちづくり計画では、観光関連事業の発展に結びつく民間事業者の創意工夫を引き出し、社会的使命と事業の自立をあわせ持つことができる民間のパートナーと行政が連携したまちづくりが期待されている。それには湯本温泉全体の持続的発展に結びつけることができる核となる民間事業者が必要であり、この民間事業者が地域で自ら収益を生み、生み出した収益を地域に再投資するという考え方が示されているが、その具体性と今後の公民連携事業の進め方について問う。</p>	市長 部課長	9:30
7	有田 茂	50分	<p>耕作放棄地の解消対策について (1) 近年農家の高齢化が進み、農業を辞める人が増え続け、農地の維持が出来ない状況が見られる。一度荒れた農地を元に戻すには、多大な労力と資金が必要になることから、早急な対策が求められている。市としてどのような対策を考えているのかを問う。 (2) 農地を維持していくためには、担い手不足の解消が必要であり、その中でもリーダーとなるべき人材の養成が重要であると考えますが、人材育成に対する対策と課題を問う。</p>	市長 部課長	10:50
8	江原達也	40分	<p>買い物弱者対策について 買い物弱者対策は、全国の自治体共通の課題ではあるが、中山間地域においては、極めて優先度が高い政策課題である。長門市においても、買い物弱者対策は喫緊の課題であり、特に身体が不自由な一人暮らしの老人にとって、買い物する手段がないことは死活問題である。今後の長門市における買い物弱者対策について問う。</p>	市長 部課長	13:00
9	重廣正美	40分	<p>防災対策について 第2次長門市総合計画では、基本目標の2番目に『安全で安心して住めるまち』として、防災体制の強化、交通安全・防犯対策の強化がうたわれている。緊急な災害時における災害対策本部の体制、避難場所設置時の体制について、また、豪雨による土砂災害などの危険予想区域の整備計画を問う。</p>	市長 部課長	13:50
10	綾城美佳	60分	<p>聴覚障がい者に対する生活支援の充実について 聴覚障がい者にとって手話は「言語」であり、重要な意思疎通の手段である。近年、手話を「言語」として普及させるための「手話言語条例」を制定する動きが全国の自治体で広がっており、県内ではすでに萩市で施行されている。聴覚障がい者にとっては、日常生活のいたるところで手話通訳者等を介して意思疎通を図ることができれば「きこえない」ことは障壁ではなくなる。聴覚障がい者への福祉政策に対する本市の現状と課題、聴覚障がい者のコミュニケーションに関わるバリアフリー化を実現させるための今後の対策について問う。</p> <p>増加傾向にある野良猫、野良犬への対応について 飼い主のいない猫や野犬による苦情が本市でも多くなっている。特に猫は、犬と異なり法令（狂犬病予防法など）で規制されておらず、行政では捕獲できない。そのため、野良猫が増え続け、さらに餌をむやみに与えることが追い討ちをかけ、猫が1ヶ所に集中し、糞尿が散乱する、繁殖で更に増え続けていくなど地域によっては大きな問題になっているケースも見受けられる。住民の快適な生活を守っていくための野良猫、野良犬についての対策を問う。</p>	市長 部課長	14:40

平成29年12月7日（木）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
11	岩藤睦子	50分	香月泰男美術館について 香月泰男美術館が開館して来年10月で25年目を迎える。平成27年2月には香月家から油彩画や素描画など800点を超える作品の寄贈があり、今年4月から香月泰男美術館専属の学芸員が設置された。香月泰男画伯の芸術の伝承や保存を今後どのようにすすめていくのか。市長の見解を問う。	市長 教育長 部課長	9:30
12	重村法弘	50分	まちなみの整備について 本市では今後、交流人口の拡大、地域産業の活性化及び雇用の創出等を図ることを目的に、仙崎、湯本、俵山それぞれの地区において、まちなみ整備に関する事業が計画されている。まちなみの再整備については、それぞれの地区に居住されている地域住民の理解・協力、そして何より事業への参画が必要不可欠と考えられるが、現時点における計画の課題について尋ねる。 また、通りの活性化、賑わいには従来の商店の活性化や新しい出店者も必要と考えられるが、空き家と出店者のコーディネートや、出店者の募集、起業支援の体制等をどのように考えているのか尋ねる。	市長 部課長	10:30
13	早川文乃	50分	公共交通の利用促進のための仕組みづくりについて 市では、公共交通体系のより効果的、効率的な運行を図るため、平成29年3月に地域公共交通網形成計画を策定された。公共交通を持続可能なものとするため、利用促進のため観光、商業、福祉等の他分野とのサービスの連携が必要と思うが、市の考えを問う	市長 部課長	13:00
			外国人児童・生徒への支援と受入れ体制について 現在、市内の小・中学校において、数名の外国人児童・生徒が在籍していると聞いている。 言語等の対応について、外国人児童・生徒への支援と受入れ側の現状の体制について尋ねる。	教育長 部課長	
14	中平裕二	50分	長門市のスポーツ振興の取り組みについて 本市においてはラグビー招致活動や、各種スポーツ大会の開催など様々な施策が展開されているが、スポーツ振興に対する市の基本的な考えを問う。併せて、スポーツ振興に欠かせない運動施設について、維持管理の現状及び整備について尋ねる。	市長 教育長 部課長	14:00
			JAL向津具ダブルマラソンについて 今年度開催された大会の反省と、来年度以降開催に向けた対応について尋ねる。	市長 教育長 部課長	